



研究室HP：研究室の詳細
について知りたい方はこ
ちらにアクセス

研究室Facebookページ：
研究活動の最新情報につ
いてはこちらにアクセス



M1中間発表会 & ISASシンポジウム参加

修士論文研究の中間報告会およびJAXA主催「宇宙航行の力学シンポジウム」での発表。

2018年12月8日（土）に工学研究科機械工学専攻修士1年生の中間報告会が開催され、当研究室からは5名のM1が発表しました。研究報告は、発表10分間、質疑応答5分間の形式で、発表別刷りも作成されるなど、学会発表形式で執り行われました。当研究室は「流体力学」セッションに割り振られ、参加教員および学生から質疑応答が活発になされました。今年の研究の振り返りとしての中間発表会でしたが、来年度以降の国内および国際学会に参加するための前段階として、各学生の研究の位置づけと成果の確認のためにも有意義な場となったと考えます。

M1中間報告会の翌週である2018年12月10日（月）、11日（火）にJAXA宇宙科学研究所（ISAS、相模原市）にて、「平成30年度宇宙航行の力学シンポジウム」が開催され、当研究室M1の河野安奈さんが今年度の超音速風洞実験結果に関する成果を口頭発表しました。このシンポジウムは、例年この時期に開催され、ISASと密接に連携する研究者の成果発表の場となっています。当研究室は、ISASの超音速風洞を利用して、火星探査機用超音速パラシュートの基礎研究に取り組んでおり、衝撃波と音響擾乱の干渉の観点から問題解決を目指しています。